

地理歴史(世界史・日本史)〔問題〕

(100点・90分)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見たり、裏返したりしてはいけません。
2. 出題科目は、世界史(2～36ページ)・日本史(37～71ページ)です。どちらか1科目を選択しなさい。
3. この問題冊子は71ページあり、解答用紙は1枚(両面)です。
試験中に問題冊子・解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁などに気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
4. 試験開始後、ただちに解答用紙の所定の記入欄に、氏名・受験番号・誕生月日をそれぞれ正しく記入し、さらに受験番号・誕生月日をその下のマーク欄にマークしなさい。また、選択科目欄には、選択する科目をマークしなさい。マークと異なる科目を解答したり、両科目を解答した場合は判定対象となりません。
5. 受験番号・誕生月日が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
6. 解答は、解答用紙の解答欄に各設問で指示された方法で記入しなさい。
例えば、

20

と表示のある問いに対して②と解答する場合は、次の(例)のように解答番号20の解答欄の②にマークしなさい。

(例)

解答番号	解 答 欄
20	① ● ③ ④

7. 問題冊子の余白等は、下書きなどに適宜利用してよいが、各設問で指示された解答は、必ず解答用紙の解答欄に指示された方法で記入しなさい。
8. 試験終了後、提出は解答用紙のみとし、問題冊子は持ち帰りなさい。

世界史

第1問 以下はイギリスに関する歴史の一部をまとめたものである。文章をよく読み、下の問い（問1～10）の答えを解答欄にマークせよ。

イギリスは、世界史における重要な局面の立役者である。単なるヨーロッパの一国家というよりは、のちに「世界帝国」となったように、地球上の多くの地域、共同体がこのイギリスと何らかの関係を有した。すなわち、私たちはイギリスを通して世界史をある程度見通すことができるのである。では、このように「グローバル」な影響を持つに至ったイギリスの歴史を以下で簡単にたどってみよう。

ストーンヘンジにみられるような太古の文明を有していたブリテン島だが、ローマ人の侵攻を受けたのちは、^(a)1世紀半ば頃より、およそ400年にわたって彼らの属州となった。ローマ撤退後、ゲルマン人の移動の一環として、アングロ=サクソン人がこの島に侵入し、彼らはアングロ=サクソン七王国（ヘプターキー）を形成した。その後、デーン人の征服を経たのち、11世紀半ばには、ノルマン=コンクエストをはたしたウィリアム1世がイングランド王に即位し、ここにノルマン朝が開始される。

その後まもなくして、イングランドを中心とするイギリスは、フランスの血統を引くプランタジネット朝に移行する。こうしたフランスとの関係を一つの背景として生じたのが、14～15世紀の英仏百年戦争である。当初、クレシーの戦いやエドワード黒太子の活躍でイギリスは優勢だったが、フランス側で^(b)ジャンヌ=ダルクが登場するなどして勢力を盛り返され、最終的にフランス軍が勝利した。

^(c)百年戦争後、イギリス国内では内乱が勃発し、それに伴い王権が伸長していく。テューダー朝の I は、婚姻および王位継承に関する問題をめぐってローマ教皇と対立し、1534年には首長法（国王至上法）を制定することで、イギリス国教会を創設した。その後、エリザベス1世が統一法により教義などの改革を推進した。こうして、イギリスは宗教改革をおこない、プロテスタント国家化した。対外的にエリザベス1世は、1588年、^(d)スペイン艦隊を破り、海外進出を本格化させた。また1600年には、毛織物製品などの市場拡大のために、東インド会社が設立されている。

その後、アジア進出を図るイギリスは1623年の^(e)アンボyna事件にて、オラ

ンダによって東南アジアから締め出されるも、1651年には航海法を制定し、これが契機となり、同世紀後半にイギリス=オランダ（英蘭）戦争を戦い、北米のニューアムステルダム（のちのニューヨーク）を奪った。

一方、国内では、エリザベス1世の死後、ステュアート朝が開始されるが、次第に王権と議会の対立が激化していく。この結果、イギリスでは① ピューリタン革命、名誉革命が相次いで起こり、最終的に、議会権力が国王に優ることを宣する権利の章典が同意された。

1707年、スコットランドとともにグレートブリテン王国が形成されるも、その後、王朝が断絶し、ドイツから新しく王を迎えることで、ここにハノーヴァー朝が成立した。対外的には、スペイン継承戦争やフレンチ=インディアン戦争などを通じ、北米でもさらに領土を拡大した。また同時期、イギリスは、② インドにも植民地を拡大させており、世界を股にかける帝国の形成を着々と進めていった。

元来、石炭などの鉱物資源が多数産出していたイギリスでは、技術革新が進展するようになり、これをもとに18世紀後半より産業革命が始まる。このようななか、資本家が、賃金労働者を工場で雇い、競争的に生産や販売をおこなう資本主義体制が確立していった。

綿製品をはじめ、大量の製造が実現されると、今度はその販売市場の獲得が目指された。特に、インドはイギリス綿製品の市場として重視され、これにより在地産業は衰えた。代わりにインドでは、アヘンの栽培が奨励され、そのアヘンは中国に輸出された。そして、イギリスは中国から Ⅱ を大量に輸入し、ここにアジアでの三角貿易ができあがる。また、中国にアヘンが流入すると、それを取り締まろうとする清朝とのあいだでアヘン戦争が勃発した（1840～42年）。イギリスの貿易戦略の一つとして、貿易協定や不平等条約の締結も重要であり、アヘン戦争後に中国と結ばれた南京条約がまさにそれで、上海などの開港や③ 香港島の割譲などが中国に突きつけられた。

イギリスの支配領域は、アジア世界にとどまらず、アフリカにも広がった。いわゆる④ アフリカ縦断政策を掲げ、エジプトと南アフリカを結ぶ植民地の連結が目指された。その過程で、同じくアフリカの植民地化を図る他のヨーロッパ列強諸国と衝突することもあった。

以上のように、イギリスが「世界帝国」化する主たる原動力の一つは、イギリス製品販売市場としての植民地獲得という経済的側面にあったといえよう。その実、イギリスは「世界の工場」と呼ばれるに至り、最大の工業生産国として「世界の一体化」を促進したのであった。

問 1 文章中の空欄部

I

 と

II

 に入る語句として正しい組合せを、次の①～⑥から一つ選べ。

1

- | | | |
|---|-------------|---------|
| ① | I — ヘンリ 2 世 | II — 茶 |
| ② | I — ヘンリ 2 世 | II — 砂糖 |
| ③ | I — ヘンリ 7 世 | II — 茶 |
| ④ | I — ヘンリ 7 世 | II — 砂糖 |
| ⑤ | I — ヘンリ 8 世 | II — 砂糖 |
| ⑥ | I — ヘンリ 8 世 | II — 茶 |

問 2 下線部①の期間における古代ローマに関して、正しい文章を、次の①～④から一つ選べ。

2

- ① ポンペイウス、カエサル、クラッススによる政治的同盟関係が形成された。
- ② 『ローマ法大全』が編纂された。
- ③ ローマ皇帝ネロがキリスト教迫害をおこなった。
- ④ 325 年、テオドシウス帝が即位した。

問3 下線部③に関して述べた次のXとYの文章の正誤について正しい組合せを、
下の①～④から一つ選べ。 3

X：ジャンヌ=ダルクが活躍した時期のフランス王はシャルル10世である。

Y：ジャンヌ=ダルクは、オルレアンのパウゼ戦にてイギリスに勝利した。

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — 正 | Y — 正 | ② X — 正 | Y — 誤 |
| ③ X — 誤 | Y — 正 | ④ X — 誤 | Y — 誤 |

問4 下線部③に関して、ランカスター家とヨーク家の争いとして正しいものを、
次の①～④から一つ選べ。 4

- | | |
|----------|---------|
| ① フス戦争 | ② バラ戦争 |
| ③ ユグノー戦争 | ④ 三十年戦争 |

問5 下線部④に関して、イギリスとの戦争以前の1571年、ヴェネツィアなどとの
連合艦隊がオスマン帝国の艦隊を撃破している。この戦争として正しいものを、
次の①～④から一つ選べ。 5

- | | |
|--------------|-----------|
| ① トラファルガーの海戦 | ② サラミスの海戦 |
| ③ プレヴェザの海戦 | ④ レパントの海戦 |

問 6 下線部㉔に関して，この事件が起きた場所を，下の地図の①～④から一つ選
べ。

6



17 世紀の東南アジア

問7 下線部①に関して述べた次のX・Y・Zの文章の正誤について正しい組合せを、下の①～⑥から一つ選べ。 7

X：ピューリタンとはカトリックの一派である。

Y：ピューリタン革命を指導したホッブズは、のちに独裁化した。

Z：ウィリアム3世とメアリ2世は権利の章典を受け入れた。

- | | | | |
|---|-------|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | Z — 正 |
| ② | X — 正 | Y — 正 | Z — 誤 |
| ③ | X — 正 | Y — 誤 | Z — 誤 |
| ④ | X — 誤 | Y — 正 | Z — 正 |
| ⑤ | X — 誤 | Y — 誤 | Z — 正 |
| ⑥ | X — 誤 | Y — 誤 | Z — 誤 |

問8 下線部②に関して述べた次の文章中のXとYの正誤について正しい組合せを、下の①～④から一つ選べ。 8

【インドにおいてイギリスは、[X：フランス]と勢力争いを展開し、ブラッシーの戦い後のパリ条約にて、同地での優位性を確固たるものとした。しかし、イギリスのインド支配は現地民の反発を招き、19世紀後半には、傭兵である[Y：シパーヒー]が反乱を起こした。】

- | | | | | | |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | ② | X — 正 | Y — 誤 |
| ③ | X — 誤 | Y — 正 | ④ | X — 誤 | Y — 誤 |

問9 下線部⑨に関して、誤った文章を、次の①～④から一つ選べ。

9

- ① 第二次世界大戦時、日本の支配下に入った。
- ② 1997年に、イギリスから中国に返還された。
- ③ 二・二八事件が発生した。
- ④ 韓国や台湾などとともに、新興工業経済地域の一つとなった。

問10 下線部⑩に関して、正しい文章を、次の①～④から一つ選べ。

10

- ① イギリスは、エジプトにおけるマフディー運動を鎮圧した。
- ② 縦断政策のあいだ、ドイツと衝突して、ファショダ事件が起こった。
- ③ ケープ植民地首相のリヴィングストンがこの政策を推し進めた。
- ④ イギリスは、トランスヴァール共和国・オレンジ自由国との戦争を戦った。

第2問 以下は北アフリカを中心とするイスラーム史の一部をまとめたものである。
文章をよく読み、下の問い（問1～10）の答えを解答欄にマークせよ。

北アフリカは古代から現代に至るまで、古代地中海世界やイスラーム勢力、そしてのちにはヨーロッパ植民地主義などの影響を受けつつ、複雑な歴史を歩んできた。以下にその歴史を概観しよう。

北アフリカは、すでに先史時代より、狩猟や農耕、あるいは牧畜がおこなわれ、初期の人類が活動する地域の一つであった。その後、前12世紀ごろ、レバノン沿岸のフェニキア人が地中海を西進し、のちにチュニジアとなる地に海港都市国家カルタゴを建設した。地中海交易で繁栄したカルタゴだが、前3世紀半ばより、地中海方面に勢力を拡大させていたローマと衝突し、3次にわたるポエニ戦争が戦われた。戦中、カルタゴの将軍 I の活躍もあったが、最終的にカルタゴはローマに敗北し、その後、カルタゴを含む北アフリカ一帯はローマの属州に組み込まれる。

ローマ帝国時代、北アフリカではキリスト教が広まり、アウグスティヌスを輩出するなどしたが、7世紀に入ると、同地域にはイスラーム教が拡大する。その大きな契機は、7世紀半ば、シリア総督のムアウィヤによって創始された^(a) ウマイヤ朝が、北アフリカに住み後述のムラービト朝などを創設する II 人々たちを破り、この地に進出したことである。8世紀にかけて、ウマイヤ朝勢力は北アフリカを越えて、イベリア半島を経由してヨーロッパに進出するも、^(b) フランク王国によって退けられた。9世紀には、アッバース朝による迫害を逃れたイドリースによって、現在のモロッコにイドリース朝が建てられ、その首都フェスは、宗教・学問の中心地として発展した。

11世紀には、^(c) サハラ交易を掌握したムラービト朝が登場する。サハラ交易とは、北アフリカと、ガーナ王国やマリ王国を結ぶもので、岩塩、金や象牙などが取引された。ムラービト朝は厳格な^(d) スンナ派を掲げ、マラケシュを首都とし、^(e) 後ウマイヤ朝滅亡後のイベリア半島南部のアンダルスにも進出した。12世紀、ムラービト朝を倒しておこったのが、ムワッヒド朝である。ムラービト朝同様、ムワッヒド朝もイベリア半島における征服活動を展開し、^(f) トレドなどを侵略し

ている。

ムワッヒド朝滅亡後の北アフリカには、複数のイスラーム国家が並び立つこととなったが、16世紀になると、^(g) オスマン帝国が北アフリカ一帯を支配下に置いた。アルジェ（アルジェリア）では、海賊バルバロッサ兄弟が活躍し、その弟はオスマン帝国の総督に任じられた。

モロッコはオスマン朝の支配を免れて独立を維持し、サード朝（16世紀～）やアラウィー朝（17世紀～現在）が続く、特にサード朝は、16世紀末、サハラ砂漠を越えてソンガイ王国を征服し、金などの交易を掌握した。

19世紀になると、北アフリカでは、ヨーロッパ列強諸国による植民地化が進行していく。^(h) フランスは19世紀前半から20世紀初頭にかけて、北アフリカ諸国を相次いで支配下に置き、20世紀初頭にはイタリアもこの地の植民地支配に参入した。この植民地時代には、都市部で一部インフラの整備が進展する一方、入植者による現地民に対する経済的、文化的抑圧がおこなわれた。

このように、ヨーロッパ列強の支配に苦しんだ北アフリカ諸国は、第二次世界大戦後、独立運動を展開する。リビアは1951年に、モロッコとチュニジアは1956年に独立をはたしたが、アルジェリアでは、1954年に Ⅲ が武装闘争を開始した。フランス軍とのあいだで激しい戦闘が繰り返され、民間人を巻き込むテロも横行した。その後、1962年のエヴィアン協定によりアルジェリアは独立するに至った。

ところが、独立をはたした北アフリカ諸国では、社会主義体制、および独裁政権が台頭するようになった。例えば、アルジェリアでは、独立後に一党独裁体制が敷かれ、社会主義的経済政策が推進された。石油・天然ガスの国有化により国家収入は増加をみたものの、官僚主義と汚職が蔓延し、経済的停滞を招くこととなった。初代大統領ブルギーバのもと、女性の権利拡大や教育改革が推進されていたチュニジアでも、⁽ⁱ⁾ 1987年、無血クーデタが起これ、ベン・アリー政権は経済自由化を進める一方で、言論統制など独裁的な体制を敷いた。このチュニジアでは、2010年、露天商モハメド・ブアジジの焼身自殺を契機に全国的な抗議運動が発生し、翌年、ついにベン・アリー政権は崩壊することとなった。これがのちの「アラブの春」の発端となった。SNSを通じて大きく拡散したこの運動

により、民主化の波が北アフリカを席卷することとなったが、依然として経済停滞や政治的分裂など不安定な状況が続いている国も少なくはない。

問 1 文章中の空欄部

I

 ～

Ⅲ

 に入る語句として正しい組合せを、
次の①～⑥から一つ選べ。

11

- | | | | |
|---|------------|-----------|---------|
| ① | I — スパルタクス | Ⅱ — ベルベル | Ⅲ — FLN |
| ② | I — スパルタクス | Ⅱ — ベルベル | Ⅲ — ANC |
| ③ | I — ハンニバル | Ⅱ — ベルベル | Ⅲ — FLN |
| ④ | I — ハンニバル | Ⅱ — マジャール | Ⅲ — ANC |
| ⑤ | I — スキピオ | Ⅱ — マジャール | Ⅲ — FLN |
| ⑥ | I — スキピオ | Ⅱ — マジャール | Ⅲ — ANC |

問 2 下線部③に関して、正しい文章を、次の①～④から一つ選べ。

12

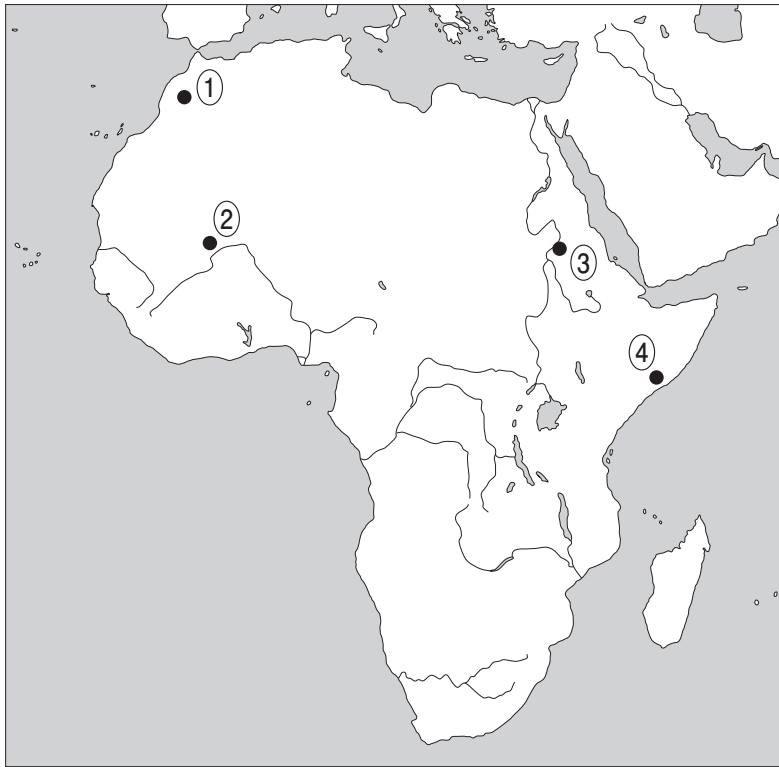
- ① 税金などアラブ人の特権が廃止され、イスラーム教徒間での平等が目指された。
- ② 被征服民から、人頭税のハラージュと土地税のジズヤが徴収された。
- ③ ハールーン=アッラシードの治世が最盛期であった。
- ④ 現存最古のモスクが建てられた。

問 3 下線部①に関して述べた次の文章中の X・Y・Z の正誤について正しい組合せを、下の①～⑥から一つ選べ。

【当時のフランク王国では王権が衰え，[X：宮宰] が実権を握っていた。その職に就いていた [Y：ピピン] は，732 年，侵攻してきたイスラーム勢力を [Z：カタラウヌムの戦い] で撃破し，キリスト教世界の防衛に成功した。その後まもなくして，フランク王国ではメロヴィング朝が廃され，カロリング朝が始まった。】

- | | | | |
|---|-------|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | Z — 正 |
| ② | X — 正 | Y — 正 | Z — 誤 |
| ③ | X — 正 | Y — 誤 | Z — 誤 |
| ④ | X — 誤 | Y — 正 | Z — 正 |
| ⑤ | X — 誤 | Y — 誤 | Z — 正 |
| ⑥ | X — 誤 | Y — 誤 | Z — 誤 |

問 4 下線部㉓に関して、この交易ではトンブクトゥなる都市が繁栄した。この都市の場所を、下の地図の①～④から一つ選べ。 14



13～16世紀のアフリカ

問 5 下線部㉔に関して、この宗派を奉じた国家・王朝の正しい組合せを、次の①～⑥から一つ選べ。 15

- ① セルジューク朝 — アイユーブ朝
- ② セルジューク朝 — ファーティマ朝
- ③ ブワイフ朝 — アイユーブ朝
- ④ ブワイフ朝 — ファーティマ朝
- ⑤ セルジューク朝 — ブワイフ朝
- ⑥ アイユーブ朝 — ファーティマ朝

問6 下線部㉔に関して述べた次のXとYの文章の正誤について正しい組合せを、
下の①～④から一つ選べ。 16

X：グラナダを首都とし、そこに大モスク（メスキータ）が建設された。

Y：後ウマイヤ朝の成立に伴い、各地方のイスラーム政権の統合が進んだ。

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — 正 | Y — 正 | ② X — 正 | Y — 誤 |
| ③ X — 誤 | Y — 正 | ④ X — 誤 | Y — 誤 |

問7 下線部㉕の都市では、アリストテレス哲学をはじめ、アラビア語からラテン語への翻訳が大いに隆盛し、ヨーロッパにおける12世紀ルネサンスを導いた。12世紀のヨーロッパやイスラーム世界に関して述べた文章として、正しいものを、次の①～④から一つ選べ。 17

- ① ヨーロッパでは、バロック様式という建築スタイルが流行した。
- ② ヨーロッパでは、パリ大学などの大学が誕生するようになった。
- ③ モンゴル軍によってアッバース朝が滅亡した。
- ④ エジプトやシリアを中心とするマムルーク朝がおこった。

問8 下線部㉖に関して述べた次の文章中のXとYの正誤について正しい組合せを、
下の①～④から一つ選べ。 18

【16世紀のオスマン帝国は北アフリカのみならず、各地で領土拡張を展開した。東方ではイランの〔X：サファヴィー朝〕と争い、アナトリア東部を獲得するとともに、南方ではマムルーク朝を滅ぼし、〔Y：メッカのみ〕の保護権を獲得した。】

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — 正 | Y — 正 | ② X — 正 | Y — 誤 |
| ③ X — 誤 | Y — 正 | ④ X — 誤 | Y — 誤 |

問9 下線部⑨に関して、北アフリカ諸国がフランスの支配下に入った時期を時系列に沿って古いものから並べたとき、正しい組合せを、次の①～⑥から一つ選べ。

19

- ① アルジェリア → モロッコ → チュニジア
- ② アルジェリア → チュニジア → モロッコ
- ③ モロッコ → アルジェリア → チュニジア
- ④ モロッコ → チュニジア → アルジェリア
- ⑤ チュニジア → アルジェリア → モロッコ
- ⑥ チュニジア → モロッコ → アルジェリア

問10 下線部①に関して、同年に起こった世界史上の出来事として正しいものを、次の①～④から一つ選べ。

20

- ① インティファーダ
- ② パレスチナ暫定自治協定の締結
- ③ アフリカ連合の創設
- ④ 東西ドイツの統一

第3問 以下の[A]と[B]の文章をよく読み、下の問い（問1～10）の答えを解答欄にマークせよ。

[A] 2025年4月より大阪にて開催された「2025年日本国際博覧会」、通称「大阪・関西万博」における目玉の一つとして、実物大のガンダム（RX-78F00/E）像が建てられた。ガンダムとは、1979年より放映されたアニメ作品、『機動戦士ガンダム』に登場する巨大ロボットである。宇宙に進出した人類が建国したジオン公国と、地球に残った人々（地球連邦政府）との戦いを描いており、同作品とそのシリーズは、様々な派生を経ながら、現在にかけて世界的な人気を博している。

一般的には、単なるロボット・アニメの印象が強いが、当初よりその物語は「戦争」をテーマとしていることから、作中には人類史にとって普遍的な主題が織り込まれていることがわかる。その一つが「移民」である。そもそも、物語の前提として、地球人口が過剰に増大したため、人類は宇宙へ移り住み、その宇宙移民の一部が独立国家（ジオン公国）を樹立し、地球連邦政府に宣戦布告したことがある。加えて、作品序盤は戦争難民の問題が絶えずつきまとう。すなわち、「移民」についての解像度が高くないと、この作品を十分に理解することはできないのである。

さて、世界史を眺めると、「移民」は様々な時代や地域で発生し、しばしば歴史を大きく動かしてきた。以下では、自発的な移動のみならず、他者によって移動を強制された人々や、戦争などによって移動せざるをえなかった、いわゆる難民も含めて、「移民」をめぐる世界史のごく一部を垣間見よう。

世界で最初におこなわれた「移民」は、最古の人類が生息したアフリカにて、およそ20万年前に起こった（出アフリカ）。アフリカを飛び出た人類の祖先は、その後、世界各地に定住先を見出し、最終的に彼らは、^aメソポタミアやエジプトをはじめとする文明を形成することとなる。

ヨーロッパで古代ギリシア文明がおこると、ここでも大規模な移民が生じた。すなわち、植民活動である。^bポリス（都市国家）を形成していたギリシア人たちが、耕作に適した土地が限定されていたこともあり、他の地にその問題解決の活路を見出さざるをえなかった。そこで、ポリスから植民団が派遣され、^c地

中海沿岸一帯に植民市が多数形成されたのである。

古代ギリシア人の文明が繁栄していたころ、アジア方面では、遊牧民の活動が盛んとなる。イラン系の^④スキタイ人に続いて登場した I は、中国の秦や漢をしばしば脅かした。後1世紀の後漢時代にかけてこの I は衰退に向かうが、この退行に影響を受けたとされるのが、やはり遊牧民の II である。ユーラシア西部において4世紀頃より、II 人たちは西に移動を始めた。これに押し出されるかたちで、大移動したのがゲルマン人たちであり、ついに彼らはローマ帝国領内に侵入し、そこに自らの国家を形成した。このように、「移民」が連鎖的に生じることもあった。

もっと直接的な強制移民としては、^⑤15～16世紀における新航路の発見を契機として発達した大西洋奴隷貿易が第一に思い出される。アメリカ大陸における砂糖や綿花のプランテーションでの労働力として、西アフリカの黒人奴隷が、スペインやイギリスといったヨーロッパ諸国によって強制的に移住させられた。劣悪な環境の奴隷船に乗せられ、一時は最大で200万人に上る黒人奴隷が輸送された。移動の最中に命を落とす者も少なくなかったが、無事に到着したとしても、奴隷としての過酷な労働が彼らを待ち受けていたのはいうまでもない。

以上のような「移民」の歴史はほんの一部にすぎないが、もちろんそれはただ単にガンダム物語に対する理解を深めるばかりではない。現実の日本社会でも外国人問題が取り沙汰されているように、人類史にとって普遍的な問題として「移民」の問題は捉えられるべきだろう。

問 1 文章中の空欄部

I

 と

II

 に入る語句として正しい組合せを、
次の①～⑥から一つ選べ。

21

- | | | |
|---|--------|------------|
| ① | I — 突厥 | II — フン |
| ② | I — 突厥 | II — アヴァール |
| ③ | I — 柔然 | II — フン |
| ④ | I — 柔然 | II — アヴァール |
| ⑤ | I — 匈奴 | II — フン |
| ⑥ | I — 匈奴 | II — アヴァール |

問 2 下線部④に関して、誤った文章を、次の①～④から一つ選べ。

22

- ① メソポタミアでは、灌漑農業がおこなわれた。
- ② メソポタミアでは、前 2700 年頃までに、アッカド人たちによる都市国家が形成された。
- ③ エジプトでは、ナイル川の水利に基づく農業がおこなわれた。
- ④ エジプトでは、メソポタミアよりも早い時期に統一国家が形成された。

問3 下線部①に関して述べた次のX・Y・Zの文章の正誤について正しい組合せを、下の①～⑥から一つ選べ。

23

X：前6世紀頃よりポリスが建設されるようになった。

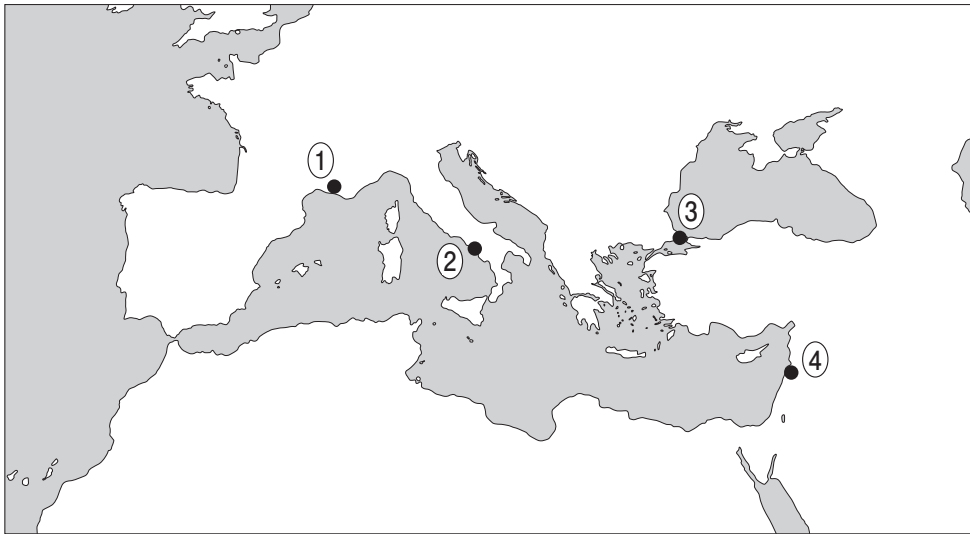
Y：アテネのような主要なポリスでも、奴隷制は十分に発達せず、あくまで市民が社会の中心だった。

Z：スパルタは、アテネ同様、イオニア系に属する。

- | | | | |
|---|-------|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | Z — 正 |
| ② | X — 正 | Y — 正 | Z — 誤 |
| ③ | X — 正 | Y — 誤 | Z — 誤 |
| ④ | X — 誤 | Y — 正 | Z — 正 |
| ⑤ | X — 誤 | Y — 誤 | Z — 正 |
| ⑥ | X — 誤 | Y — 誤 | Z — 誤 |

問 4 下線部㉓に関して、ギリシア人が植民市として建設したものではない都市の場所を、下の地図の①～④から一つ選べ。

24



古代の地中海世界

問 5 下線部㉔に関して、正しい文章を、次の①～④から一つ選べ。

25

- ① 黒海北岸を支配領域とし、オリエント世界やギリシア人と交流をもった。
- ② 月氏を攻め、中央アジアのオアシスを支配領域に組み込んだ。
- ③ 完顔阿骨打の治世に最盛期を迎えた。
- ④ ソグディアナを本拠地としていた。

問 6 下線部㉔に関して述べた次の文章中の X と Y の正誤について正しい組合せを、
下の①～④から一つ選べ。

26

【大航海時代は多くの人々を移動させた。なかでも，[X：ポルトガル] の後押しを受けたコロンブスがアメリカ大陸に至ったインパクトは大きかったが，ドミニコ会修道士 [Y：ラス=カサス] が報告したように，この「移動」は現地民の搾取を結果的に招くこととなった。】

- | | | | | | |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | ② | X — 正 | Y — 誤 |
| ③ | X — 誤 | Y — 正 | ④ | X — 誤 | Y — 誤 |

[B] 2025年現在、「大阪・関西万博」のガンダム以外にも、世界では他3箇所（東京、福岡、上海）で公式の実物大「ガンダム」（それぞれRX-0、RX-93ff、ZGMF-X10A）が建っているが、これらは何よりも「巨像」に他ならない。この「巨像」もまた、私たちが歴史を振り返るときにしばしば遭遇するものである。今度はこの観点から、世界史の一部を眺めてみよう。

古代では、巨像は神聖な存在とのつながりを示し、宗教儀式や都市の中心に配置された。また、巨像の建造には、膨大な資源と労力が必要であり、それ自体が国家や王権の力を誇示する手段でもあった。例えば、エジプトの王、^①ファラオの権威を示す巨像として、アブ=シンベル神殿のラメセス2世像や、ライオンの胴体に人間の女性の顔を有するスフィンクス像（ギザのピラミッド）が有名である。古代ギリシアでも、神々や英雄を模した巨像が多く作られ、なかでも、ロドス島の太陽神ヘリオス像は、約30メートルの高さを誇ったといわれ、世界七不思議の一つに数えられている。

アジアでは、仏教やヒンドゥー教の影響を受けた巨像が多い。中国の楽山大仏（高さ71メートル）は、唐代に建造された巨大な石仏である。日本では東大寺盧舎那仏（いわゆる奈良の大仏）が有名で、仏教の広まりと国家の安定を願って、8世紀に建立された。インドもまた巨像大国として知られる。ここでは、仏教に代わり、^②ヒンドゥー教の神々を^{かたど}象った巨像が各地に存在し、特にシヴァ神の像が多数建てられている。

近代以降の巨像として有名なものは、やはりアメリカの自由の女神像（高さ約93メートル）であろう。これはフランスから寄贈されたものであり、アメリカの自由と民主主義の理念を体現している。全体が人物を象ったものではないが、フランスはパリのヴァンドーム広場に建てられた巨大な円柱もまた、自由の女神と同じく19世紀のものである。かの^③ナポレオン1世が、アウステルリッツの戦いにて戦利品の巨砲をもとに作らせたもので、巨大な円柱の頂点にはナポレオン自身の像が建つ。

現代においても、巨像は観光資源として、また文化的アイデンティティの象徴として重要な役割をはたしている。例えば、インドの「統一の像」（本体の高さ182メートル）は、^④独立運動の英雄サルダール=ヴァッラブバーイー=パテル

を称えるものであり、国家統一の象徴とされている。

巨像文化は、人類の歴史や信仰、そして社会の価値観を映し出す鏡であるが、偶像崇拜が禁止されているイスラーム世界など、必ずしも世界のあらゆる場所で確認されるわけではない。どのような背景が人々を巨像の建造に向かわせるのかを考えてみるのも興味深いだろう。

問 7 下線部①に関して述べた次の X と Y の文章の正誤について正しい組合せを、下の①～④から一つ選べ。 27

X：ファラオは、生ける神としてエジプトに君臨した。

Y：アメンヘテプ 4 世（アクエンアテン）は、神アテンのみを信仰する改革をおこなった。

- | | | | | | |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | ② | X — 正 | Y — 誤 |
| ③ | X — 誤 | Y — 正 | ④ | X — 誤 | Y — 誤 |

問 8 下線部②に関して、誤った文章を、次の①～④から一つ選べ。 28

- ① グプタ朝時代に社会に定着していった。
- ② シヴァ神やヴィシュヌ神に加えて、アンラ=マンユ（アーリマン）といった神も崇拝された。
- ③ 16 世紀のインドでは、シク教の成立にみられるように、イスラーム教との融合がはかられた。
- ④ ムガル帝国のアウラングゼーブは、ヒन्दゥー教寺院を破壊した。

問9 下線部①に関して、彼のおこなったこと（即位前も含む）として、誤ったものを、次の①～⑥から一つ選べ。 29

- | | |
|-----------------------|--------------|
| ① 民法典の制定 | ② アミアンの和約締結 |
| ③ ブリュメール 18 日のクーデタの実行 | ④ ルイ 16 世の処刑 |
| ⑤ エジプト遠征 | ⑥ ライン同盟の結成 |

問10 下線部①に関して、独立に至るまでの出来事を時系列に沿って古いものから並べたとき、正しい組合せを、次の①～⑥から一つ選べ。 30

- ① ローラット法の制定 → 「塩の行進」 → 全インド=ムスリム連盟の結成
- ② ローラット法の制定 → 全インド=ムスリム連盟の結成 → 「塩の行進」
- ③ 「塩の行進」 → ローラット法の制定 → 全インド=ムスリム連盟の結成
- ④ 「塩の行進」 → 全インド=ムスリム連盟の結成 → ローラット法の制定
- ⑤ 全インド=ムスリム連盟の結成 → ローラット法の制定 → 「塩の行進」
- ⑥ 全インド=ムスリム連盟の結成 → 「塩の行進」 → ローラット法の制定

第4問 以下は文学を中心とする中国文化史の一部をまとめたものである。文章をよく読み、下の問い（問1～10）の答えを解答欄にマークせよ。

数千年にわたる中国の歴史において、その文学は、政治体制や社会構造、あるいは宗教、思想といった変化と密接に関わりながら発展してきた。文学は単なる芸術表現にとどまらず、時代の精神を反映しており、支配者の思想、知識人の理想、庶民の感情などが交錯する場でもあった。以下では、各時代の文学の特徴と、それを支えた社会背景をみていく。

紀元前11世紀頃から始まる周代には、儒教の祖である^a孔子が編纂したとされる中国最古の詩集『詩経』が成立した。これは305篇の詩からなり、民衆の率直な感情を反映したものや政治批判などを含み、のちの文学の規範となった。この『詩経』が北方詩の源流をなしたのに対して、南方では戦国時代の^b楚で韻文集『楚辞』が生まれた。神話的要素を多数含む点を特徴とするこの作品もまた、後世に多大な影響を及ぼしている。

漢代になると、文学がより体系的に発展し、散文文学が重要な位置を占めるようになる。司馬遷による中国で最初の正史『史記』は、本紀と列伝を中心とする I という歴史記述の形式を確立し、このスタイルのもと、様々な階層の人々のありようを活写した。同様のものとして、前漢について班固が著した『漢書』も重要である。こうした作品が登場した背景には、^c中央集権的で、なおかつ官僚や儒教に下支えされた皇帝制が確立されていったという状況がある。

^d六朝時代は、政治的には分裂と混乱の時代であったが、精神的には自由と個人主義が台頭した。貴族階級のあいだでは、清談や玄学が流行する一方で、奇怪な話を記した「志怪」と呼ばれるジャンルも現れた。またこの時期、陶潜（陶淵明）は田園詩を詠い、官職を捨てて自然のなかで暮らす理想を詩に込めた。謝靈運は山水詩を発展させ、風景描写に美的感覚を持ち込んだ。対句を特徴とする II が流行したのもこの時代である。

7世紀、隋を経て^e唐代に入ると、中央集権が再建され、国際的にも繁栄をきわめた。シルクロードを通じて西域の文化が流入し、仏教・道教・儒教が共存する文化的多元性が生まれた。この豊かな文化的土壌のなかで、詩は文学の中心と

なり、形式的にも内容的にも完成度が高まった。

都市化と商業の発展が進んだ宋代は、文人官僚の士大夫が指導者層を形成すると同時に文化の担い手ともなった。その一人である^①蘇軾は、詩文のみならず書画にも優れ、「三蘇」の一人として、文化・芸術の多方面に影響を与えている。また、宋代には、楽曲用の歌詞である「詞（宋词）」も生まれていることも忘れてはならない。

元代には、モンゴルによる支配のもとで、漢人の官僚登用が制限された。文人たちは官職から離れて民間文化に目を向けるようになった結果、『西廂記』に代表される元曲が発展した。加えて、この元代の終わりから次の明代初めにかけては、『水滸伝』や『西遊記』、さらには『三国志演義』など私たち日本人に馴染みの小説も書かれている。特に、明代になると、印刷技術の発展もみられ、これらの作品はますます広範な読者層を獲得するに至った。

17世紀初め、ヌルハチが建国した金（後金）をもとに成立した^②清朝では、言論弾圧や思想統制が図られるなか、曹雪芹の『紅樓夢』が登場する。この作品は、貴族社会の衰退と人間の感情を繊細に描写し、中国文学の頂点とされる。清代後期には、西洋列強の侵略と国内の動乱が続き、文学も次第に社会批判的な性格を強めていった。^③アヘン戦争以降、中国は半植民地化の道を歩み、伝統的な儒教的価値観が揺らぎ始め、西洋思想の流入により中国文学は大きく変容していく。20世紀初頭、陳独秀が発刊した雑誌『新青年』上で胡適が提唱した^④Ⅲが主流となり、文学を庶民に開放し、社会改革の手段とする動きが推進された。魯迅はその代表的作家であり、『狂人日記』『阿Q正伝』などを通じて中国社会の矛盾を鋭く批判した。彼の作品は、人間の精神的抑圧や近代化への葛藤を描き、文学を通じた思想的闘争の象徴となった。この^⑤文学革命は、中国の学生など若年層へ多大な影響をもたらした。

以上のように、中国文学史は、時代ごとの社会構造や思想の変化を反映しながら、詩・散文・戯曲・小説など多様な形式で展開してきた。古代の神話的世界から近代文学の社会批判に至るまで、その流れは中国文化の深さと広がり的大いに示している。

問 1 文章中の空欄部 I ～ Ⅲ に入る語句として正しい組合せを、
次の①～⑥から一つ選べ。 31

- | | | |
|-------------|-----------|--------------|
| ① I — 四六駢儷体 | Ⅱ — 編年体 | Ⅲ — 三民主義 |
| ② I — 四六駢儷体 | Ⅱ — 紀伝体 | Ⅲ — 白話（口語）文学 |
| ③ I — 編年体 | Ⅱ — 紀伝体 | Ⅲ — 三民主義 |
| ④ I — 編年体 | Ⅱ — 四六駢儷体 | Ⅲ — 白話（口語）文学 |
| ⑤ I — 紀伝体 | Ⅱ — 編年体 | Ⅲ — 三民主義 |
| ⑥ I — 紀伝体 | Ⅱ — 四六駢儷体 | Ⅲ — 白話（口語）文学 |

問 2 下線部④に関して、誤った文章を、次の①～④から一つ選べ。 32

- ① 孔子とその弟子の言行を記録したものが『論語』である。
- ② 天道に従う無為自然を主張した。
- ③ 徳に基づく政治や礼の実践を重視することを説いた。
- ④ 儒教の考えは、のちの孟子や荀子に受け継がれた。

問 3 下線部⑥に関して、正しい文章を、次の①～④から一つ選べ。 33

- ① 宗法や封建制に基づく社会を形成した。
- ② 長江流域に位置し、西には秦が隣接する。
- ③ 青銅器が主流であり、鉄器は使用されなかった。
- ④ 領域北部は趙と接していた。

問 4 下線部㉔に関して述べた次の文章中の X と Y の正誤について正しい組合せを、
下の①～④から一つ選べ。

34

【後漢時代になると〔X：科挙〕という官吏登用制度において、儒学が重要視された。そこで、『詩経』をはじめとする経典の解釈をめぐる研究も盛んとなり、鄭玄によって〔Y：訓詁学〕が発展した。】

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — 正 | Y — 正 | ② X — 正 | Y — 誤 |
| ③ X — 誤 | Y — 正 | ④ X — 誤 | Y — 誤 |

問 5 下線部㉕に関して、六朝に含まれない王朝を、次の①～④から一つ選べ。

35

- | | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| ① 蜀 | ② 梁 | ③ 齊 | ④ 陳 |
|-----|-----|-----|-----|

問 6 下線部㉖に関して、この時期の文化について述べた次の X と Y の文章の正誤について正しい組合せを、下の①～④から一つ選べ。

36

X：王維や法顕といった詩人が登場し、厳格な韻律を特徴とする唐詩が確立した。

Y：インドを訪れた義浄が『南海寄帰内法伝』を著した。

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — 正 | Y — 正 | ② X — 正 | Y — 誤 |
| ③ X — 誤 | Y — 正 | ④ X — 誤 | Y — 誤 |

問7 下線部①に関して述べた次の文章中のX・Y・Zの正誤について正しい組合せを、下の①～⑥から一つ選べ。 37

【蘇軾は、欧陽脩らと並ぶ名文家であると同時に、南宗画とも呼ばれる、淡い色彩を特徴とした〔X：文人画〕にも秀でていた。また、彼は政治家でもあり、〔Y：市易法〕などを定めた新法を実施した〔Z：王安石〕とは対立関係にあった。】

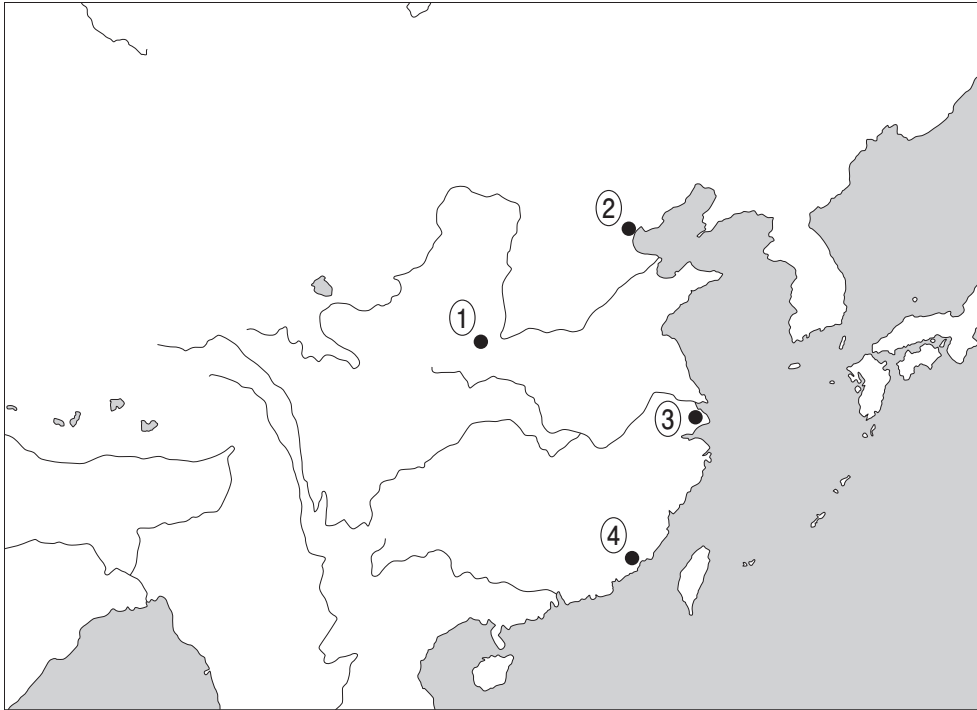
- | | | | |
|---|-------|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | Z — 正 |
| ② | X — 正 | Y — 正 | Z — 誤 |
| ③ | X — 正 | Y — 誤 | Z — 誤 |
| ④ | X — 誤 | Y — 正 | Z — 正 |
| ⑤ | X — 誤 | Y — 誤 | Z — 正 |
| ⑥ | X — 誤 | Y — 誤 | Z — 誤 |

問8 下線部⑧の時期における文化的状況について、誤った文章を、次の①～④から一つ選べ。 38

- ① 国家的な編纂事業として『四庫全書』などが著された。
- ② ヨーロッパ人のあいだで中国趣味が隆盛した。
- ③ 言論弾圧の一環として焚書・坑儒が実施された。
- ④ 漢人男性を対象として辮髪が強制された。

問 9 下線部①に関して，アヘン戦争後，イギリス・フランスとのあいだでアロー戦争が戦われた。この戦争の最初の条約が結ばれた場所を，下の地図の①～④から一つ選べ。

39



19 世紀半ばの中国

問10 下線部①に関して、20世紀の中国では、文化的なもののみならず、政治的な革命や運動もしばしば起こっていた。これら政治的革命や運動の時期を時系列に沿って古いものから並べたとき、正しい組合せを、次の①～⑥から一つ選べ。

40

- ① 「大躍進」 → プロレタリア文化大革命 → 辛亥革命
- ② 「大躍進」 → 辛亥革命 → プロレタリア文化大革命
- ③ プロレタリア文化大革命 → 「大躍進」 → 辛亥革命
- ④ プロレタリア文化大革命 → 辛亥革命 → 「大躍進」
- ⑤ 辛亥革命 → プロレタリア文化大革命 → 「大躍進」
- ⑥ 辛亥革命 → 「大躍進」 → プロレタリア文化大革命

第5問 以下は第二次世界大戦以降のアメリカ、ソ連、アジアに関する歴史の一部をまとめたものである。[A]と[B]の文章をよく読み、下の問い（問1～10）の答えを解答欄にマークせよ。

[A] 朝鮮は第二次世界大戦中に出されたカイロ宣言にて独立が約束されていたものの、大戦後に^aソ連が北部に、アメリカ合衆国が南部に進駐し、占領下に置いた。米ソの対立が激化するなかで、^b南部では大韓民国（韓国）が、北部では朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）が独立を宣言し、朝鮮半島の南北が分立した。同時期に中国では中国国民党と中国共産党の対立が激化していた。そして1949年10月、中国共産党が北京を首都とする中華人民共和国の成立を宣言した。他方、中国国民党は台湾に逃れ、そこで中華民国政府を維持した。このように、東アジア地域に共産党政権が次々に誕生していることを重く見たアメリカは、^c日本を安定させることを目指した。

1950年代半ばから、中国はソ連との競争を意識し、急激な社会主義体制の強化を図った。この強化を通じて急速な発展を目指したものの、農業生産の急減などを招き多数の餓死者を生み出すといった問題が発生した。また、^d中国の経済立て直しをおこなっていた改革派に対抗する新たな社会運動が展開され、社会の混乱を招いた。さらに、中国はソ連の平和共存路線などの社会主義の在り方をめぐる論争からソ連との関係が悪化し、軍事衝突に発展した。こうして、中国は国際的な孤立のなかで、アメリカ合衆国との関係改善を模索するようになった。アメリカ合衆国も、長引くベトナム戦争に苦しむなか、国際社会における主導権を再確立するために中国への接近を図った。結果、1972年にアメリカの^eニクソン大統領が中国を電撃訪問し、関係正常化に合意した。

20世紀初頭以来アメリカ領となっていたフィリピンは、1946年に独立したあともアメリカと強い軍事・経済的結びつきを維持していた。冷戦期には、各種軍事基地がアメリカの東アジア戦略の要となり、ベトナム戦争時にも重要な役割をはたしている。このフィリピンでは、1986年の「ピープルパワー革命」で^fマルコス政権が崩壊し、民主化が進んだ。その後、1991年には、冷戦の終結をうけて、アメリカ軍はフィリピンから撤退することになるが、近年では中国の南シ

ナ海進出に対抗するかたちで、米軍による基地使用権が再び拡大されるなど、米比関係が強化されている。

問 1 下線部㉓に関して、米ソ占領の境界として正しいものを、次の①～④から一つ選べ。 41

- ① 北緯 35 度 ② 北緯 36 度 ③ 北緯 37 度 ④ 北緯 38 度

問 2 下線部㉔に関して、国名と独立等を宣言した当初の国のトップ（大統領，主席，首相等）として正しい組合せを次の①～⑥から一つ選べ。 42

- ① 大韓民国 — 李承晩，北朝鮮 — 金日成，中華人民共和国 — 毛沢東
② 大韓民国 — 李承晩，北朝鮮 — 毛沢東，中華人民共和国 — 金日成
③ 大韓民国 — 金日成，北朝鮮 — 毛沢東，中華人民共和国 — 李承晩
④ 大韓民国 — 金日成，北朝鮮 — 李承晩，中華人民共和国 — 毛沢東
⑤ 大韓民国 — 毛沢東，北朝鮮 — 金日成，中華人民共和国 — 李承晩
⑥ 大韓民国 — 毛沢東，北朝鮮 — 李承晩，中華人民共和国 — 金日成

問 3 下線部㉕に関して述べた次の文章中の X と Y の正誤について正しい組合せを，下の①～④から一つ選べ。 43

【1950 年にマッカーサーの指令で吉田首相により [X：警察予備隊] が設置された。そして，1951 年には，日本と連合国 48 か国とのあいだにサンフランシスコ平和条約が締結された。これにより，日本は正式に，[Y：朝鮮・台湾・南樺太・千島] を放棄した。】

- ① X — 正 Y — 正 ② X — 正 Y — 誤
③ X — 誤 Y — 正 ④ X — 誤 Y — 誤

問 4 下線部㉔の社会運動にて失脚に追い込まれた指導者たちの一部はのちに復権した。それらの指導者が実施した中国の経済政策に関して述べた次の文章中の X と Y の正誤について正しい組合せを、下の①～④から一つ選べ。 44

【復権した鄧小平を中心とした新指導部は、計画経済から市場経済への転換をはかるため、1978 年以降、〔X：工業・国防・科学技術の「三つの現代化」〕などの〔Y：改革開放路線〕を推進していった。】

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — 正 | Y — 正 | ② X — 正 | Y — 誤 |
| ③ X — 誤 | Y — 正 | ④ X — 誤 | Y — 誤 |

問 5 下線部㉕のアメリカ大統領在任中に発生した事象として、誤ったものを、次の①～④から一つ選べ。 45

- | | |
|---------------|-------------|
| ① 国連人間環境会議の開催 | ② アジア通貨危機 |
| ③ 第 4 次中東戦争 | ④ 沖縄の日本への返還 |

問 6 下線部㉖において、1960 年代頃から採用された政治・経済体制として正しいものを、次の①～④から一つ選べ。 46

- | | |
|---------|------------|
| ① 開発独裁 | ② 計画経済 |
| ③ 新自由主義 | ④ 社会主義市場経済 |

[B] 米ソの冷戦中に、ソ連はいくつかの社会主義政権に対し、財政的もしくは軍事的支援をおこなっていた。1979 年末にソ連は^gアフガニスタンへ軍事侵攻をおこない、親ソ政権を支援した。これに対しアメリカは強く反発し、米ソ関係が悪化した。そして 1985 年、ソ連の指導部の世代交代がおこなわれゴルバチョフが新たな指導者となった。当時のソ連は社会的閉塞感や経済不振があり、加えて、^h原子力発電所で大規模な原子力事故が発生した。これらの状況を打開するため、ⁱ社会主義体制の改革を実行した。また、経済的な負担となっていた軍拡の回避を試みるべく、「新思考外交」を唱え、アメリカ合衆国に対して対話を呼びかけた。これにアメリカも応え、^j米ソ首脳会談が実現し、軍縮に関する合意も成立した。さらに、アフガニスタンから軍事撤退をおこなった。その後、この改革が進展し、冷戦の終結が宣言され、国内の混乱を経てソ連は消滅に向かう。

問 7 下線部^gの場所として正しい位置を、下の地図の①～④から一つ選べ。

47



1970 年代後半から 1980 年代前半のアジア地域

問 8 下線部①に関して、原子力発電所の普及により、これまでに深刻な原子力事故が発生している。深刻な原子力事故を時系列に沿って古いものから並べたとき、正しい組み合わせを、次の①～⑥から一つ選べ。 48

- ① チョルノービリ（チェルノブイリ） → 福島第一 → スリーマイル島
- ② チョルノービリ（チェルノブイリ） → スリーマイル島 → 福島第一
- ③ 福島第一 → チョルノービリ（チェルノブイリ） → スリーマイル島
- ④ 福島第一 → スリーマイル島 → チョルノービリ（チェルノブイリ）
- ⑤ スリーマイル島 → チョルノービリ（チェルノブイリ） → 福島第一
- ⑥ スリーマイル島 → 福島第一 → チョルノービリ（チェルノブイリ）

問 9 下線部①に関して述べた次の文章中の X と Y の正誤について正しい組合せを、下の①～④から一つ選べ。 49

【ゴルバチョフは「X：「偉大な社会」」をスローガンに社会主義体制の改革に着手をした。加えて、「Y：グラスノスチ（情報公開）」もおこない、改革を推進しようとした。】

- ① X — 正 Y — 正 ② X — 正 Y — 誤
- ③ X — 誤 Y — 正 ④ X — 誤 Y — 誤

問10 下線部①に関して、1991 年に米ソ間で調印された条約として正しいものを、次の①～④から一つ選べ。 50

- ① マーストリヒト条約
- ② 中距離核戦力（INF）全廃条約
- ③ 核拡散防止条約（NPT）
- ④ 第 1 次戦略兵器削減条約（START I）

日本史

第1問 日本における茶の歴史について記した文章A～Cを読み、下の問い（問1～9）の答えを解答欄に記入せよ。

A 日本における茶の初例は、729年、聖武天皇の時代に始まった国家仏事において、天皇が僧侶に茶を与える「行茶」という儀礼とされる。

茶の本格的伝来を担ったのは、遣唐使に随行して中国に派遣された^①最澄で、持ち帰った茶の実を国内に植えた。茶の淹れ方は、唐で盛んであった煎茶の煮茶法であったと思われる。その確実な初出は、815年に近江の寺院を訪ねた嵯峨天皇に、永忠という僧侶がみずから茶を煎じて献じたという記録である。なお永忠は、805年に最澄とともに唐から帰国している。

鎌倉時代になると、栄西が中国 **ア** 王朝から抹茶による点茶法をもたらした。もともと中国において、茶は薬として広まっており、この点が日本においても着目された。栄西の『喫茶養生記』は、二日酔いで苦しんでいた将軍^②源実朝に献上されたことで知られる。

問1 下線部①に関連して、最澄の事績として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **51**

- ① 新たな戒壇の設立を求めた。
- ② 比叡山に延暦寺を開いた。
- ③ 空海とともに渡唐した。
- ④ 法華経の教えをもとに、真言宗を興した。

問2 **ア** に入る中国の王朝名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **52**

- ① 宋 ② 元 ③ 唐 ④ 明

問 3 下線部①に関連して、源実朝の事績を記した次の文章 X・Y の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

53

X：『金槐和歌集』を編纂した。

Y：後嵯峨上皇と協調関係にあった。

- | | | | | | |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | ② | X — 正 | Y — 誤 |
| ③ | X — 誤 | Y — 正 | ④ | X — 誤 | Y — 誤 |

B 栄西によって点茶が本格的に伝えられたことで、鎌倉～室町時代には、禅宗寺院において茶文化が花開く。京都・奈良においては、庶民にも広まりをみせ、室町時代の1400年頃には、抹茶1杯を1文（約100円）で販売する立ち売りや茶屋が姿をみせている。

なお、栄西がもたらした茶は、明恵が移植した梅尾の茶が最上質で、宇治の茶がそれに次ぐとみなされた。南北朝時代に庶民や武士の間で栄えた^㉔茶寄合では、茶を飲み比べて、梅尾茶（本茶）と他地域の茶（非茶）を当てる闘茶が行われるなど、後の侘茶とはかなり趣が異なる。しかしながら、徐々に絵画や庭の鑑賞や、連歌の催しが加わるようになり、ただの遊びではなく、参加者の一体感を高めるサロンとしての特色を帯びるようになった。

大きな転機となったのが室町時代中期である。^㉕書院造の座敷において、足利義政とその同朋衆能阿弥を中心に、娯楽性を排した書院の茶が生み出された。ただし用いられた調度は中国製の高級品で、貴族的要素が強いものであった。

一方、京都・奈良の町衆に広まっていた下々の茶に関心を寄せた イ は、能阿弥から書院の茶の指導を受け、一休宗純に弟子入りして禅宗を学んだ。イ は学んできた茶を融合し、簡素な四畳半敷の茶室を考案した。茶室の小規模化は、参会者の一体性を高めたほか、内面を重んじる侘茶への道が開かれた。

侘茶は、イ の弟子の ウ を介し、千利休によって大成された。茶室も三畳敷、さらには妙喜庵待庵に代表される二畳敷へと縮小され、現在茶道と呼ばれる茶の湯の原型はここに完成したといってよい。しかし^㉖利休の全盛期は、豊臣秀吉政権期であり、華美が好まれた桃山文化の時代でもあった。もっとも秀吉が作った黄金の茶室には、利休も関与したという指摘があり、明かりが弱い時代に幽玄性を表現したものとする見解もある。利休の死後、江戸時代に向かうにつれ、茶の湯の担い手は町人から大名へと移っていく。

問 4 下線部㉔に関連して、以下の史料から読み取ることのできる内容を記した下の文章X・Yの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

54

〔史料〕

一、群飲佚遊^{ぐんいんいつゆう}（注1）を制せらるべき事。

格条^{こと}の如くんば、嚴制^{こと}殊に重し。剩^{あまつさ}え好女^{ふけ}の色に耽^{ばくえき}り、博奕^{ばくえき}（注2）の業に及ぶ。此の外又、或いは茶寄合と号し、或いは連歌会と称し、莫太^{ばくだい}の賭に及ぶ。其の費^{つい}え勝計^{しょうけい}（注3）し難^{がた}き者か。

（『建武式目』）

（注1）群飲佚遊：群れて飲食し、遊びほうけること。

（注2）博奕：博打に同じ。

（注3）勝計：ひとつひとつ数えること。

X：後醍醐天皇の命で、茶寄合が禁止された。

Y：茶寄合では、莫大な金銭が賭けられることがあった。

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — 正 | Y — 正 | ② X — 正 | Y — 誤 |
| ③ X — 誤 | Y — 正 | ④ X — 誤 | Y — 誤 |

問 5 下線部㉔に関連して、書院造の特徴を記した文章として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

55

- ① 部屋全面に畳が敷き詰められるようになる。
- ② 屋敷の南側の庭に、泉が作られることが多かった。
- ③ 初期のものとして、慈照寺東求堂同仁齋が挙げられる。
- ④ 襖や障子で部屋が細かく区切られている。

問6

イ

・

ウ

に入る茶人の組合せとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

56

- ① イー 武野紹鷗 ウー 今井宗久
- ② イー 武野紹鷗 ウー 村田珠光
- ③ イー 今井宗久 ウー 武野紹鷗
- ④ イー 今井宗久 ウー 村田珠光
- ⑤ イー 村田珠光 ウー 武野紹鷗
- ⑥ イー 村田珠光 ウー 今井宗久

問7 下線部㉔に関連して、桃山文化の特徴を記した文章として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

57

- ① 身分に関わらず、小袖の着用が広まった。
- ② 城郭や大寺院においては、金碧を特徴とする濃絵で障壁画が描かれた。
- ③ 豊臣秀吉は北野で大規模な茶会を催し、公家や大名にのみ参加を許した。
- ④ 能登出身の絵師長谷川等伯が、狩野派とともに名を馳せた。

C 江戸時代，黄檗宗の開祖として，宇治に **工** を開いた隠元隆琦が茶缶（急須）に煎茶とお湯を注ぐ淹茶法を伝えたことなどで，文人のあいだで煎茶文化が広まっていく。

一方，日本や中国で生産された茶葉は，16～17世紀には，欧米諸国でも紅茶という形で受容されていく。ただヨーロッパでは生産できない稀少品であったため，イギリスは特に中国からの輸入を求めた。しかし中国明・清王朝は海禁政策を取っており，貿易量に制限があったため，19世紀にイギリスが密貿易の仕組みを作り上げた。この摩擦の結果，勃発したのが **オ** である。敗北した中国清王朝は，南京条約を締結して開港に応じざるを得ず，このことが江戸幕府の対外政策にも大きな影響を与えることとなった。

江戸幕府が1858年に **カ** を結んだ後，日本においても茶葉はアメリカに対する主力輸出品となった。しかし徐々に他国産紅茶の台頭によって輸出需要が減少し，国内向け生産へと切り替わっていく。こうして，日本人に広く茶文化が定着していった。

問8 **工** に入る寺院名として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **58**

- ① 東慶寺 ② 万福寺 ③ 妙心寺 ④ 寛永寺

問9 **オ**・**カ** に入る語句の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **59**

- ① オーアロー戦争 カー日米和親条約
② オーアロー戦争 カー日米修好通商条約
③ オーアヘン戦争 カー日米和親条約
④ オーアヘン戦争 カー日米修好通商条約

第2問 古代倭国と朝鮮半島の関係を書した史料Aと、撰関政治期の歴史を書した文章Bを読み、下の問い（問1～8）の答えを解答欄に記入せよ。

A 以下の史料は、高句麗の国王が、父にあたる前の国王の功績を讃える目的で、西暦414年に建立した石碑の一部である。なお、史料は一部省略したり、書き改めたりしたところもある。

〔史料〕

（前略）百残^{〔済〕}・新羅は、旧^{もと}是れ属民なり。由来朝貢す。而^{しか}るに倭、辛卯^{（391年か）}の年よりこのかた、海を渡りて百残を破り、新羅を□□し、以て臣民^なと為す。^{（396）}六年丙申を以て、王躬^{みづか}ら水軍を率ゐ、^{（後）}（百）残国を討科す。^{（主）}（略）（百）残王困逼し、男女生口一千人・細布千匹を献出し、王^{（注2）}に帰^きして自ら誓ふ。今より以後、永く奴客^{（注3）}と為らんと。^{（399）}（中略）九年己亥、百残誓^{ちかい}に違ひ、倭と和通す。王、平穰^{（注4）}を巡下す。而るに新羅、使を遣はして王に白^いひて云く、倭人其の国境に満ち、城池を潰破し、奴客^{（注4）}を以て民と為せり。王に帰して、命を請はむと。^{（400）}（略）十年庚子、歩騎五万を教遣し、往きて新羅を救はしむ。男居城より、新羅城に至る。倭、其の中に満てり。官軍方^{まさ}に至り、倭賊退く。^{（404）}（中略）十四年甲辰。而るに倭、不軌^{ふき}にして^{（注5）}帯方の界に侵入す。（後略）

〔注1〕百残：敵対している百済の国名を、敢えて悪い文字で記したか。

〔注2〕王：以下、単に「王」とあるのは、前の高句麗王を指す。

〔注3〕奴客：高句麗の属国となるという意味。

〔注4〕奴客：ここでは新羅が、（高句麗の）属国であるわが国とへりくだって述べた言葉。ただし、石碑はあくまで高句麗側の記録であり、新羅が実際にこのような表現を用いたかは明らかではない。

〔注5〕不軌にして：約束を破ってという意味。

問 1 この石碑で讃えられている高句麗王の名前として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 60

- ① 長寿王 ② 中山王 ③ 好太王 ④ 聖明王

問 2 この石碑において，当時の高句麗が主張していた「歴史」を述べた文章として誤っているものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 61

- ① 倭国の朝鮮半島への攻撃は，何度も繰り返されている。
② 百済は，早くから高句麗に従っていたが，一時倭国に占領された。
③ 倭国は，高句麗との講和を破って攻め込んできたことがある。
④ 新羅は，倭国と講和して高句麗から独立した。

B 平安時代後期、藤原氏が摂政・関白（摂関）の地位を独占し、藤原摂関家が天皇と協調して朝廷政治を主導する摂関政治の時代を迎える。なお摂関は、701年制定の ア には規定がない。858年に藤原良房が摂政に任命されたとされるが、まだ正式な制度ではなかったようだ。

したがって藤原良房以後、摂関が常置されたわけではなかった。そもそも藤原氏の地位は、^a 良房の先祖が政変や政治改革で主要な役割を果たしたことで基礎が築かれたが、それでただちに朝廷における唯一無二の存在に上り詰めたわけではない。藤原氏が最終的に摂関を常置させ、朝廷政治の主導権を確保できたのは、天皇家の外戚（妻の実家）の地位を維持し続けることに成功したためである。この背景には、平安時代の貴族社会における^b 結婚形態が関わっており、天皇にとって、外戚である藤原氏は協調して政治を運営する存在となっていく。

969年の政変の結果、朝廷内で藤原氏に対抗できる貴族は事実上みられなくなる。以後明治維新にいたるまで、ごく一部の例外を除き、藤原氏が摂関を独占する。天皇の位も、摂関家の協議で定められるようになるが、逆に藤原氏内部の争いが強まった。

摂関家内部の主導権争いは、藤原道長が甥伊周との政争に勝利したことで終止符が打たれ、道長政権期が摂関政治の全盛期とされる。^c 道長とその子頼通の権勢は約70年に及んだ。また平安時代には、ひらがなが普及したこともあり、女性によるかな文学が盛んになった。^d 道長の娘や姪で、天皇の中宮となった女性に仕えた女官たちも、優れた文学作品を著している。

いっぽう、仏教界では、釈迦の入滅（死去）後、段階を踏んで仏教が衰えていくという教えがあった。日本では1052年から、仏教の教えは残っているが、悟りを開く者が失われる末法の世に突入すると理解され、西方極楽浄土の阿弥陀如来に対する信仰が強まった。^e 貴族社会にも阿弥陀信仰は広まり、文化にも多大な影響を与えた。

問 3 ア に入る法律の名前として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 62

- ① 大宝律令 ② 養老律令 ③ 飛鳥浄御原令 ④ 永徽律令

問 4 下線部①に関連して、藤原良房の直系の先祖として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 63

- ① 中臣鎌足 ② 藤原武智麻呂
③ 藤原冬嗣 ④ 藤原不比等

問 5 下線部①に関連して、平安前期の貴族の結婚形態を説明した次の文章 X・Y の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

64

X：男性が女性の家に通う妻問婚が見られた。

Y：女性は所領相続権を有するが、死去時に実家に返還する一期分という形態が一般的であった。

- ① X－正 Y－正 ② X－正 Y－誤
③ X－誤 Y－正 ④ X－誤 Y－誤

問 6 下線部㉔に関連して、藤原道長が実権を確立した 996 年から、藤原頼通が関白を辞する 1067 年までの出来事を説明した文章として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

65

- ① 女真族が九州に侵攻し、藤原隆家らが撃退した。
- ② 延久の荘園整理令が出された。
- ③ 尾張の郡司・百姓が、国守藤原元命の罷免を要求した。
- ④ 後三年合戦に、源義家が介入した。

問 7 下線部㉕に関連して、藤原道長の娘の名前と、彼女に仕えていた女性が著した文学作品の名称の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

66

- ① 藤原定子 — 『枕草子』
- ② 藤原定子 — 『源氏物語』
- ③ 藤原彰子 — 『枕草子』
- ④ 藤原彰子 — 『源氏物語』

問 8 下線部㉖に関連して、阿弥陀信仰の広まりと貴族文化に与えた影響について記した文章として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

67

- ① 浄土教の教えを説いた源信の『往生要集』が、貴族の関心を集めた。
- ② 「高野山阿弥陀聖衆来迎図」に代表される来迎図が描かれた。
- ③ 藤原道長が、宇治の別邸を阿弥陀堂とし、平等院鳳凰堂を築いた。
- ④ 慶滋保胤が、往生を遂げた人々の伝記を集成して『日本往生極楽記』を著した。

第3問 中世の女性の歴史について記した文章A・Bを読み、下の問い（問1～8）の答えを解答欄に記入せよ。

A 中世に入ると「家」組織が新たな形で成立し、公家にせよ、武士にせよ、「家」ごとに所領（土地や徴税権）と財産を所有し、相続していくようになる。注目すべきは、結婚した女性の財産は、嫁ぎ先の財産とは別に扱われたことである。このことは、女性が一定度の自律性を有していたことを示す。

疫病や戦乱が頻繁に起きた中世においては、女性が公家・武士に嫁いだ後、家督を継いだ夫が若くして死去し、後継者がまだ幼いことも少なくなかった。そうした場合、子息が成人するまでの間、前当主の未亡人が「家」の長（家長・家督）となり、所領や財産を経営・管理する慣習が存在した。

たとえば1166年に摂政藤原基実が24歳で死去した際、子息基通はまだ7歳であったため、^a後白河上皇は基実の妻平盛子（平清盛の娘）に摂関家領荘園の大半を継承させている。これは摂関家内部の争いを防ぐ措置であり、基通元服後も、1179年に盛子が死去するまで摂関家領荘園は彼女の管轄下にあった。ただ盛子の死後、後白河上皇は摂関家領荘園を平氏から切り離し、別の摂関家の一流に移しており、この処置への不満が^b同年の政変の一因となる。

日本中世史上、もっとも著名な女性は、源頼朝の妻の^c北条政子だろう。政子は、鎌倉幕府法上、頼朝・頼家・実朝に次ぐ「第4代将軍」に位置づけられている。政子は頼朝の死後、まだ若い頼家・実朝を補佐した。また源実朝が暗殺された後、次の将軍として京都から迎えられた藤原（九条）頼経はわずか2歳であったため、再び政子が幕政の中心に位置した。

したがって1225年に政子が死去した影響は大きく、^d執権北条泰時は様々な幕政改革を行い、その衝撃の緩和に務めた。

問 1 下線部㉔に関連して、後白河院政下の出来事を記した次の文章Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

68

Ⅰ：平清盛が、太政大臣となった。

Ⅱ：後白河近臣の藤原信頼が敗北し、処刑された。

Ⅲ：後白河近臣の信西が、政治改革を主導した。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問 2 下線部㉕に関連して、1179年の政変とその後の動きについて記した次の文章Ⅹ・Ⅺの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

69

Ⅹ：平清盛は、後白河上皇を幽閉して院政を停止し、翌年、自身の孫にあたる
安徳天皇を即位させた。

Ⅺ：平清盛は、日宋貿易の拠点である大輪田泊に近い六波羅に都を移したが、
大勢の反対に遭い、平安京に都を戻した。

- ① Ⅹ－正 Ⅺ－正 ② Ⅹ－正 Ⅺ－誤
③ Ⅹ－誤 Ⅺ－正 ④ Ⅹ－誤 Ⅺ－誤

問 3 下線部㉔に関連して、北条政子と彼女に関わる事件について記した文章として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 70

- ① 伊豆の在庁官人出身の武士である北条時政の娘で、源頼朝に嫁いで、頼家・実朝らを産んだ。
- ② 藤原（九条）頼経と婚約した比企能員の娘は、政子と同じく將軍の妻として権力を持つ可能性があったため、父能員とともに北条泰時に滅ぼされた。
- ③ 出家して幕政の中樞に入ったため、尼將軍と呼ばれた。
- ④ 承久の乱に際し、頼朝の恩を訴えて御家人を鼓舞し、執権北条義時を支えた。

問 4 下線部㉕に関連して、北条政子死後に執権北条泰時が行った幕政改革として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 71

- ① 藤原頼経を元服させ、征夷大將軍に任官させた。
- ② 執権の補佐役として、連署を設置した。
- ③ 評定衆を設置し、有力御家人の合議制を整えた。
- ④ 得宗家の直臣である御内人を重視し、御家人と同等の地位を与えた。

B 室町幕府初代将軍足利尊氏とその弟直義を支えた女性として、生母の上杉清子がいる。室町幕府は上杉一族を重んじ、アを始めとする要職につけた。

足利将軍の正室（御台所^{みだいどころ}）は、3代将軍足利義満以降、中級公家であった日野氏から迎えられるようになった。この慣例は、一部例外を除き、11代将軍義澄まで続く。特に8代将軍足利義政の御台所となった日野富子は、後世、高利貸しなどの利殖活動や、応仁の乱前後の政治介入で批判を浴びる。

しかし富子は幕府の公的資金に手をつけたわけではない。自身の財産から困窮していた公家や武家に貸付を行っていた。^⑤室町時代の女性は、金融業を始め、商売で活躍していたことが明らかになっており、その一例にすぎない。

政治介入についても、義政・富子の実子義尚は9歳で将軍となった上、晩年の義政は病気がちであり、富子が若い子息を補佐することは、自然な流れであった。また義政・義尚父子の死後、10代将軍義材（義植）・11代将軍義澄の指名も、富子が足利将軍家の「家長」として決断したものと評価できる。

特に10代義材（義植）から11代義澄への交代は、将軍幽閉という政変を、富子の容認のもと、管領家当主であるイが主導したものである。またこの機会を活かしてウが堀越公方を攻撃し、戦国大名に成り上がった。なおウが挙兵できた背景には、姉が近隣の有力守護の生母であったことが関係している。

イの姉「めし」は、^⑥播磨守護の赤松政則に嫁ぎ、夫の死後、幼少の養子に代わって政務を担った。^⑦駿河の戦国大名今川氏輝は、14歳の若さで家督を継いだ上、病弱であったため、しばしば生母の寿桂尼が政務を代行した。

このように戦国時代にいたっても、女性の政治的影響力は無視できないものであった。しかし大坂の陣が終わり、江戸幕府の体制が安定すると、女性の政治介入は忌避されるようになる。そのため政治的活躍をした安土・桃山時代以前の女性は、江戸時代になると悪く描写されるようになった。

問5 ア に入る室町幕府の役職名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 72

- ① 関東管領 ② 奥州探題
③ 侍所所司（頭人） ④ 政所執事

問6 下線部㉔に関連して、室町期に京都で女性に関わった商売に関する次の説明文Ⅰ・Ⅱと、その呼称a～dの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 73

Ⅰ：白い布を頭に巻き上げ、鮎を売り歩いた。

Ⅱ：常設の小売店が一般化し、『洛中洛外図屏風』などでは商売をする女性の姿も描かれるようになる。

a：大原女 b：桂女
c：店借 d：見世棚（店棚）

- ① Ⅰ－a Ⅱ－c ② Ⅰ－a Ⅱ－d
③ Ⅰ－b Ⅱ－c ④ Ⅰ－b Ⅱ－d

問7 イ・ウ に入る人名の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 74

- ① イ－細川勝元 ウ－伊勢宗瑞（北条早雲）
② イ－細川勝元 ウ－朝倉孝景
③ イ－細川政元 ウ－伊勢宗瑞（北条早雲）
④ イ－細川政元 ウ－朝倉孝景

問 8 下線部㉑・㉒に関連して、赤松氏と今川氏に関する次の説明文 X・Y の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 75

X：赤松氏は、三管領のひとつであったが、赤松満祐が 6 代将軍足利義教を殺害し、一時幕府に滅ぼされた。

Y：今川氏親が制定した分国法『今川仮名目録』には、喧嘩両成敗法の規定がある。

- | | | | | | |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | ② | X — 正 | Y — 誤 |
| ③ | X — 誤 | Y — 正 | ④ | X — 誤 | Y — 誤 |

第4問 織田信長と室町幕府の関係を記した文章Aと、江戸幕府の統治機構について記した文章Bを読み、下の問い（問1～8）の答えを解答欄に記入せよ。

A 1565年に13代将軍足利義輝が重臣三好氏に殺害された後、弟の足利義昭は奈良を脱出し、諸大名に上洛と自身を将軍につけるよう求めた。この呼びかけに、積極的に応じたのが織田信長である。義昭は、1568年に信長に奉じられて上洛し、第15代将軍となった。

義昭は信長に対し、幕府の高官に任じることで報いようとした。ただ信長からすると分不相応な地位である上、有名無実化していたものばかりであった。代わりに信長が望んだものは、^a当時栄えていた自治都市の支配権である。

もっとも信長は、基本的に京を含めた畿内の支配権は幕府にあると考えており、幕府体制の整備に尽力した。その一環として、諸大名に新将軍足利義昭および天皇に挨拶をさせようと上洛を命じたところ、強い反発を受けてしまう。この結果、近隣大名や^b一部の寺社勢力を敵に回す事態となった。

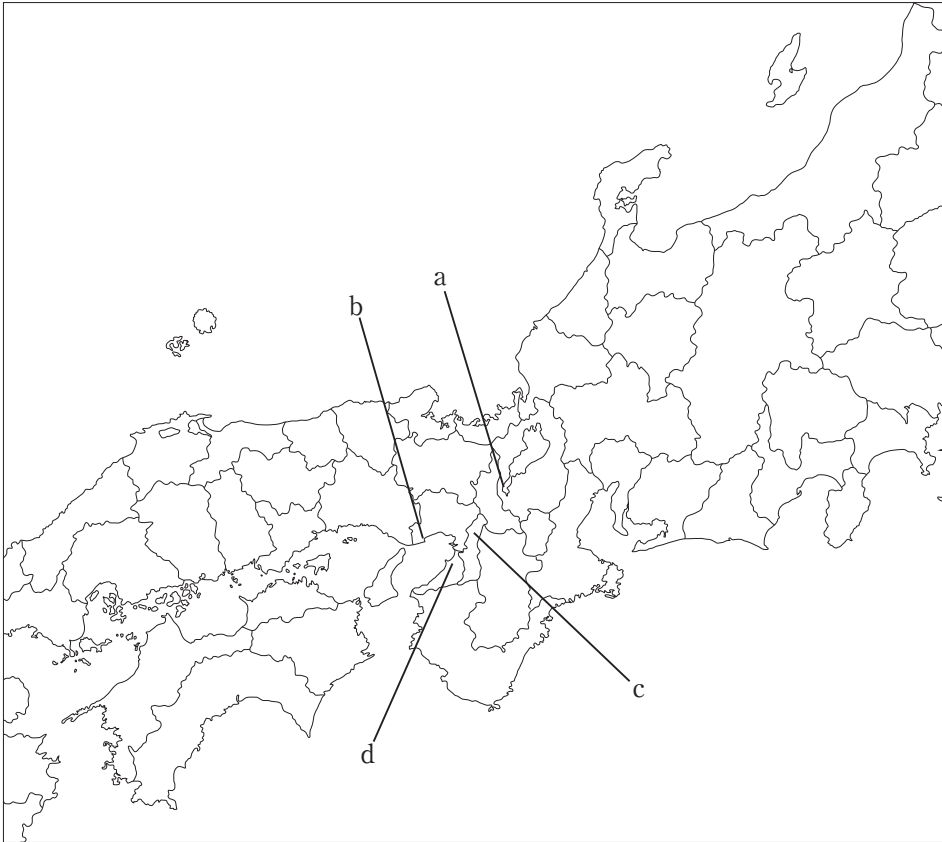
当初、将軍足利義昭は、反信長勢力を幕府への謀反と認識し、みずからも鎮圧する姿勢をみせていたが、戦況は好転しなかった。この結果、義昭は信長との共倒れを恐れ、1573年に織田信長との協力関係を絶つことを宣言した。しかし勢力を盛り返した織田信長は、足利義昭を京から追放した。

これにより室町幕府は滅亡するが、織田信長は1582年に死去するまで、義昭の征夷大將軍職剥奪を朝廷に申請しておらず、義昭からの帰京要求も前向きに検討していた。信長にとって、義昭との対立は想定外のことであり、新体制構築は考えていなかったのだろう。ただ義昭の追放後、京都および畿内も織田領国に組み込まれ、^c信長独自の政策が施行されるようになる。

信長が方針を転換し、自分こそが武家政権の長であり、将軍に代わる天下人であると主張するのは、1575年末のことである。

問 1 下線部④に関連して、織田信長が支配下に置いた自治都市の地図上の位置として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

76



(近畿地方を中心とした地図)

- ① a ② b ③ c ④ d

問2 下線部⑥に関連して、織田信長と寺社勢力の関係について述べた次の文章
X・Yの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

77

X：伊勢長島の一向一揆を鎮圧し、山科本願寺を降伏させた。

Y：敵対する大名を支援した比叡山延暦寺を焼き打ちした。

- | | | | | | |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | ② | X — 正 | Y — 誤 |
| ③ | X — 誤 | Y — 正 | ④ | X — 誤 | Y — 誤 |

問3 下線部③に関連して、織田信長の政策について説明した文章として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

78

- ① 「天下布武」の文字が刻まれた印判を用いて、統治を行った。
- ② 安土城の城下町に楽市・楽座令を出した。
- ③ キリスト教宣教師の要請に従い、領国内のあらゆる寺社を破壊した。
- ④ 撰銭令を出し、貨幣流通や商取引の円滑化を図った。

B 江戸幕府の体制が組織として形を成すのは、3代将軍徳川家光から4代将軍家綱の時代である。4～5名からなる老中が将軍のもとで幕府の重要政務を預かり、若年寄がその補佐にあたる他、^④三奉行や大目付など、基本的な役職が定まっていた。もっとも重い役職である老中は、京都所司代など幕府の要職を経た比較的小身の譜代大名から選ばれた。また臨時職として設置される大老は、老中の上に位置づけられた。

老中職にとってひとつの転機となったのが、^⑤5代将軍徳川綱吉を支えた大老堀田正俊の殺害事件である。堀田は江戸城内の老中執務室のそばで殺害されたが、将軍の御座所（執務室）は、その近くにあった。このため、身の危険を感じた綱吉は老中執務室を遠ざけ、将軍と老中の執務室は引き離された。結果として、将軍と老中の意思疎通を図るために^⑥側用人の役割が増したのである。もっともこの後も老中が政治の中心に位置していたことに変わりはなく、側用人が幕政を乱したわけではない。

このように江戸幕府の政治は、将軍または大老・老中が主導する形を取ることが多かったため、老中職はしばしば政争の的となった。1787年に老中になった^⑦松平定信は、幕府の要職に就いた経験がない。その上、養子縁組で譜代大名扱いとなっていたものの、8代将軍徳川吉宗の孫にあたり、親藩に非常に近い人物であった。このため、定信の老中任命には多くの抵抗があった。

つまり江戸幕府は、関ヶ原以前から徳川に仕えた譜代大名で幕政を司ることが基本と考えていた。これは徳川一門である親藩や、豊臣政権下では徳川と同じ大名であった外様大名には幕政介入させず、徳川将軍家の「家老」が政治を担う体制を維持しようと考えた結果といえる。

この体制は、ペリー来航後、幕府が朝廷や諸大名に意見を求めたことで大きく動揺する。外様の薩摩藩が天皇勅使を奉じて幕府に要求したことで実現した^⑧文久の改革は、当時の政局の産物であるが、幕府政治転換の象徴と呼べるだろう。

問4 下線部㉔に関連して、江戸幕府の三奉行として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 79

- ① 遠国奉行 ② 寺社奉行 ③ 勘定奉行 ④ 町奉行

問5 下線部㉕に関連して、徳川綱吉将軍期を中心とした元禄文化について記した次の文章X・Yの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 80

X：陽明学を学んだ熊沢蕃山の主張が、幕政に取り入れられた。

Y：絹生地をはなやかに染める友禅染めが生み出され、流行した。

- ① X－正 Y－正 ② X－正 Y－誤
③ X－誤 Y－正 ④ X－誤 Y－誤

問6 下線部㉖に関連して、側用人に任じられたことのある人物として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 81

- ① 間部詮房 ② 新井白石 ③ 田沼意次 ④ 柳沢吉保

問7 下線部㉗に関連して、松平定信の政策として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 82

- ① 小石川養生所の設置 ② 寄場組合の結成
③ 株仲間の解散 ④ 棄捐令の制定

問 8 下線部⑨に関連して、文久の改革について記した次の文章 X ・ Y の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 83

X：一橋慶喜を政事総裁職に，松平慶永を京都守護職に任じた。

Y：薩摩藩主である島津久光が，江戸に参府して交渉した。

- | | | | | | |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | ② | X — 正 | Y — 誤 |
| ③ | X — 誤 | Y — 正 | ④ | X — 誤 | Y — 誤 |

第5問 近代日本における海軍と軍艦造船の歴史について述べた文章 A・B を読み、
下の問い（問 1 ～ 8）の答えを解答欄に記入せよ。

A 日本における海軍は、1855 年に江戸幕府が ア の協力を得て、長崎に海軍伝習所を作ったことに始まる。そこで訓練を受けた幕臣のなかには、咸臨丸で太平洋を横断し、後に幕府の要職に就いた者も存在した。1865 年には、当時幕府を支援していた イ から顧問団を招いて、横須賀に造船所が作られた。こうして幕末には、洋式海軍設立の準備が進められていた。

① 明治新政府は、幕府や諸藩の鋳山・造船所・製鉄所を引き継ぎ、その一部を民間に払い下げた。 こうして明治時代、海軍・民間双方で造船技術が向上していく。しかし国産軍艦は数も少なく、性能面でも欧米海軍と戦える水準には達していなかった。そのため、日清戦争段階の海軍は、外国からの輸入軍艦を中心としていた。こうした状況は、俳句・短歌革新運動を唱えた ウ が 1898 年に発表した新聞連載 ② 「歌よみに与ふる書」 からもうかがい知ることができる。

問 1 ア ・ イ に入る国名として正しい組合せを、次の①～④のうちから一つ選べ。 84

- ① アー ポルトガル イー フランス
- ② アー ポルトガル イー イギリス
- ③ アー オランダ イー フランス
- ④ アー オランダ イー イギリス

問 2 下線部①に関連して、三菱に払い下げられた官有鋳山・造船所として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 85

- ① 佐渡金山 ② 生野銀山
- ③ 長崎造船所 ④ 兵庫造船所

問 3

 に入る人名として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 夏目漱石 ② 正岡子規 ③ 与謝野晶子 ④ 高浜虚子

問 4 以下の史料は、下線部⑤の一部を引用したものである。引用部分で主張されている内容を記した下の文章 X・Y の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。なお、史料は一部省略したり、書き改めたりしたところもある。

87

〔史料〕

従来の和歌を^{もつ}以て日本文学の基礎とし、城壁（注1）と^な為さんとするは、弓矢^{けんそう}劍槍を以て戦はんとすると同じ事にて、明治時代に行はるべき事にては^{これなく}無之候。今日軍艦を^{あがな}購ひ、大砲を購ひ、巨額の金を外国に出すも、^{ひつきよう}畢竟日本国を固むるに外ならず。されば^{きんしょう}僅少の金額にて購ひ得べき外国の文学思想^{など}は、続々輸入して日本文学の城壁を固めたく存候。生は（注2）和歌につきても旧思想を破壊して、新思想を注文するの考にて、^{したが}随つて用語は雅語、俗語、漢語、洋語必要次第用うるつもりに候。委細後便。

（「歌よみに与ふる書」）

（注1）城壁：これ以前の連載に寄せられた批判に、「日本文学の城壁ともいふべき国歌（和歌）」とあったため、反論のために用いた。

（注2）生は：小生は、に同じ。自分はという意味。

X：軍艦や大砲を購入するために、大金を外国に支払っている現状を批判している。

Y：和歌の存続のためには、歌の中で俗語や外国語を用いることも必要だと主張している。

- | | | | | | |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | ② | X — 正 | Y — 誤 |
| ③ | X — 誤 | Y — 正 | ④ | X — 誤 | Y — 誤 |

B 富国強兵のため、殖産興業を推し進めた明治日本の課題は、重工業発展の伸び悩みであった。特に艦船建造に不可欠な鉄鋼生産が十分ではなかったため、明治時代後半には官営製鉄所が作られた。

日露戦争の最中、日本も本格的な国産戦艦の建造に着手し始める。ロシアへの戦勝後、陸海軍は帝国国防方針を定め、大幅な軍備増強計画を打ち立てた。しかし海軍が軍艦建造予算を提出した1911年、陸軍も2個師団増設を要求した上、国家財政悪化も著しかった。海軍の要望を優先した第2次西園寺公望内閣は、陸軍の反発を受け、翌年総辞職に追い込まれる。

第一次世界大戦後、日本は設立された国際連盟の常任理事国となり、国際協調路線を進めた。欧米諸国は、海軍を中心とする軍縮を唱え、1921年にワシントン会議が開かれた。時の総理大臣原敬は、海軍大臣 工 と、駐米大使 オ を全権とし、軍縮条約交渉会議に派遣した。

軍縮条約の内容に、海軍軍令部は強く反発したが、全権となった 工 は軍艦建造競争が続けば、国力の劣る日本はむしろ不利になると判断し、海軍主流派を説得して回った。この結果、1922年にワシントン海軍軍縮条約が成立する。しかし海軍内では軍令部を中心に、軍縮反対派が大半を占める情勢に変わりは無かった。結果的に、この不満が政変やテロへとつながっていく。

問5 下線部③に関連して、官営製鉄所が作られた明治時代後半の出来事について、古いものから年代順に正しく配列したものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

88

- ① 日比谷焼打ち事件 → 閔妃殺害事件 → 官営製鉄所の設立
- ② 日比谷焼打ち事件 → 官営製鉄所の設立 → 閔妃殺害事件
- ③ 官営製鉄所の設立 → 閔妃殺害事件 → 日比谷焼打ち事件
- ④ 官営製鉄所の設立 → 日比谷焼打ち事件 → 閔妃殺害事件
- ⑤ 閔妃殺害事件 → 官営製鉄所の設立 → 日比谷焼打ち事件
- ⑥ 閔妃殺害事件 → 日比谷焼打ち事件 → 官営製鉄所の設立

問6 下線部㉔に関連して、陸軍が2個師団増設を要求する前に起きた中国大陸・朝鮮半島情勢の変化を説明した次の文章X・Yの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 89

X：辛亥革命が勃発し、中華民国が成立して清国が減んだ。

Y：韓国併合条約が結ばれ、日本は朝鮮総督府を設置した。

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — 正 | Y — 正 | ② X — 正 | Y — 誤 |
| ③ X — 誤 | Y — 正 | ④ X — 誤 | Y — 誤 |

問7 下線部㉕に関連して、第2次西園寺内閣総辞職後の出来事として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 90

- ① 立憲同志会が結党された。
- ② 軍部大臣現役武官制が改正された。
- ③ 第1次護憲運動が全国に広がった。
- ④ 大逆事件が起こった。

問8 工・オに入る人名の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 91

- | | |
|-------------|-----------|
| ① 工 — 加藤友三郎 | オ — 幣原喜重郎 |
| ② 工 — 加藤友三郎 | オ — 石井菊次郎 |
| ③ 工 — 山本権兵衛 | オ — 幣原喜重郎 |
| ④ 工 — 山本権兵衛 | オ — 石井菊次郎 |

第6問 戦前の日米関係について述べた文章Aと、戦後の第1次石油危機について述べた文章Bを読み、下の問い（問1～9）の答えを解答欄に記入せよ。

A ①日本の満洲進出本格化は、当時日本と友好関係にあったアメリカや、日英同盟を結んでいたイギリスを刺激する結果となった。特に関東軍が満洲事変を起こして満洲国建国を宣言したことは、中国における市場拡大を狙っていたアメリカにとって無視できないものであった。1939年7月に、アメリカが日米通商航海条約破棄を通告したのは、ア および鉄くずを、アメリカからの輸入に依存している日本に対し、対中政策に警告を与える意図があった。

当時の阿部信行内閣は、アメリカによる警告を理解しており、1939年9月に勃発した第二次世界大戦にも不介入方針を唱えた。しかし陸軍の反発を受け、翌年1月に内閣総辞職に追い込まれてしまう。後継の米内光政内閣も不介入路線を堅持し、ドイツ・イタリアとの同盟にも反対したが、やはり陸軍中枢から問題視され、7月に倒閣されてしまった。

米内内閣総辞職後、近衛文麿が再度首相に就任した。近衛は外務大臣にイ を起用し、日独伊三国同盟締結に舵を切る。大戦参戦派の近衛の組閣をみたアメリカは、軍需物資を理由とした輸出制限品目にア を追加し、日本への経済制裁を明確化させた。これに対し、日本は②北部仏印進駐を実施し、南方のア を確保することで、事態の打破を試みた。

近衛は、ドイツとの同盟が、対米交渉で有利に働くと考えていたが、事態はむしろ逆であり、北部仏印進駐もあいまって、アメリカは姿勢を硬化させた。また外務大臣イ に、対米融和よりドイツとの同盟を優先する傾向があったことも、日米間の交渉に悪影響を及ぼした。もっとも、ヨーロッパ戦線を第一に考えていたアメリカとしても、この時点で日本と開戦して、国民世論の支持を得る自信はなかった。

しかし日本が翌年に南部仏印進駐を行った結果、アメリカは国内の日本資産を凍結し、対日全面禁輸措置を取った。イ は外務大臣から退いていたが、陸軍大臣東条英機がアメリカの要求に強く反対し、対米交渉も進展しなかった。

近衛首相は、最終的に内閣を総辞職し、後継首相にはアメリカとの和平に反対

していた陸軍大臣東条英機が起用された。これは東条に陸軍内の強硬派を抑えさせようという考えに基づくものであったが、東条も強硬派を制御することはできなかった。

こうして1941年12月、日米交渉に終止符が打たれ、^c太平洋戦争が始まる。当初は真珠湾攻撃の成功などで、国民の戦意は高揚していたが、戦局が不利になるにつれ、^d人々の生活は重苦しいものとなっていった。

問1 下線部③に関連して、日本が満洲に進出する契機として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 92

- ① 三・一独立運動 ② 二・二六事件
- ③ 日露戦争 ④ 北支事変

問2 ア にあてはまる、日本がアメリカに依存していた重要資源として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 93

- ① 石油 ② アルミニウム ③ 天然ガス ④ 石炭

問3 イ にあてはまる外務大臣の名前と、その人物が関わった条約の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 94

- ① 東郷茂徳 ― 日ソ基本条約 ② 東郷茂徳 ― 日ソ中立条約
- ③ 松岡洋右 ― 日ソ基本条約 ④ 松岡洋右 ― 日ソ中立条約

問 4 下線部①に関連して，フランス領インドシナの地図上の位置として正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

95



(東南アジア概略図)

- ① a ② b ③ c ④ d

問 5 下線部㉔に関連して、20 世紀初頭から太平洋戦争直前までの日米関係を記した次の文章Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

96

Ⅰ：日・米・英・仏間で締結された条約により、日英同盟が破棄された。

Ⅱ：アメリカは、日本に対して中国を満洲事変以前の状態に戻すことを要求した。

Ⅲ：アメリカは中国における日本の特殊権益を、日本はアメリカに中国における門戸開放を認め合った。

① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ

② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ

③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ

④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ

⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ

⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 6 下線部④に関連して、以下の文章は、落語家の林家彦六（八代目林家正蔵、
当時は五代目蝶花楼馬楽）の日記から、長男の信雄に関わる記述の一部を抜き
出したものである。信雄（1943 年 7 月時点で満 15 歳）に出された徴用命令に
関わる法令として適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

97

〔史料〕

⁽¹⁹⁴³⁾
七月三日（土）

うっとうしいつゆの雨が降っている。（略）

警視総監から信雄に対して徴用事務の封書が来る。九日に所定の場所へ出頭
せよとある。戦争が身近に来るのを感じる。（略）

七月九日（金）

防空壕あらかた出来上がる。

どうなることか。使用する時がきたら一切あきらめるより術はない。

建築物にも良くはあるまいが大家さんにも時局がらがまんして戴くことだ。

徴用の検査に行った信雄、元気で帰ってきた。親が心配するほどのことはな
ささうだ。なんとか人間はくらして行けるものらしい。（略）

七月十九日（月）

信雄に徴用令書来る。

豊川の海軍工廠なり。当人はハリキッてゐるので親どもは大助かりなり。

（略）

（『八代目正蔵戦中日記』）

- ① 徴兵令 ② 国民徴用令 ③ 学徒出陣 ④ 七・七禁令

B 次の史料は、1973年11月3日に発行された『朝日新聞』朝刊社会面より一部を抜粋したものである。なお、史料は一部省略したり、書き改めたりしたところもある。

〔史料〕

(見出し) 通産省 品不足ではない 鎮静策に増産を指示

「トイレットペーパーやちり紙は品不足ではありません。消費者は便乗値上げを招く買いだめをやめてください」——と通産省が二日、異例の事務次官談話を発表した。

⑥ 紙不足を背景に最近、関西地方を中心にトイレットペーパーやちり紙に消費者が殺到、二日には警官が整理に出動するまでの騒ぎになった。このため、品不足や便乗値上げが目立ち、ちょっとしたパニック状態。このため、あわてた通産省はトイレットペーパーの増産や緊急輸送などに乗り出すとともに、この騒ぎの最大の原因である買いだめに自粛を呼びかけた。

⑦ 大阪通産局から通産省に入った連絡によると、大阪や神戸の一部スーパーに二日、トイレットペーパーを求める買い物客の行列が出来、整理に警官が出動したり、けが人が出る騒ぎとなった。また東京などのスーパー、小売店でも買いだめによる品不足が目立ってきた。このため一パック（四ロール入り）が四百円という異常高値まで出現した。

しかし、⑧ 通産省が、各メーカーや卸売店を調べたところ、生産、流通段階に問題はなく、品不足のうわさを聞いた消費者が、買いだめに走ったことによる一時的な品不足という結論となった。

同省の調べでは、ことし一月から八月までのトイレットペーパー出荷量は十二万三千八百トンで、前年同期より二一%も多いうえ、まだ生産余力もあり、原料不足も当面は心配がない。

(略)

同省では静岡産の標準もので卸売価格は一パック百四十円。小売価格はスーパーで二百円程度、一般小売店では二百二十円から二百三十円が標準価格であり、消費者が品不足宣伝につられて高い買い物をしないよう呼びかけている。

(後略)

(『朝日新聞』東京版社会面 1973年11月3日朝刊)

問7 下線部㉔に関連して、この時の紙不足の背景にある戦争の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 98

- ① イラン・イラク戦争 ② 第4次中東戦争
- ③ 湾岸戦争 ④ ベトナム戦争

問8 下線部㉕に関連して、トイレットペーパーの買いだめは大阪の千里ニュータウンから発生したとされている。「ニュータウン」の説明として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 99

- ① 都市部の住宅問題を解消するために郊外に建設された。
- ② 高度経済成長期以降、日本各地で整備が進められた。
- ③ 外国人労働者が多く集う新市街地として整備された。
- ④ 核家族を前提として作られた。

問9 下線部㉖にあるように、価格高騰や品不足を解消するために、政府はさまざまな対応に追われた。当時の内閣総理大臣の名前（Ⅰ）と、その人物の在任中の事績（Ⅱ）の組合せとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

100

- ① Ⅰ — 田中角栄 Ⅱ — 高速道路網の整備
- ② Ⅰ — 田中角栄 Ⅱ — プラザ合意の主導
- ③ Ⅰ — 中曽根康弘 Ⅱ — 高速道路網の整備
- ④ Ⅰ — 中曽根康弘 Ⅱ — プラザ合意の主導
- ⑤ Ⅰ — 佐藤栄作 Ⅱ — 高速道路網の整備
- ⑥ Ⅰ — 佐藤栄作 Ⅱ — プラザ合意の主導